「世界アマ」キャプテンに、

堀田勝市氏（愛知）阪本知子さん（レイク浜松）

52年ぶり日本で開催

世界アマチュアゴルフチーム選手権競技が来る9月に日本で開催されます。「日の丸」隊を率いるキャプテンには中部地区の堀田氏と阪本さんがあたります。

この大会は、1957年に霞ケ関CCで開催されたカナダカップの際、当時JGA副会長の野村駿吉氏がUSGAとの間でアマチュアの対抗戦を提案。それが端を発し翌58年に第1回大会がセントアンドリューズで行われ、米国にプレーオフの末に勝利した豪州に「世界の人々の間に、友情とスポーツマンシップを、ゴルフを通じて育て養うこと」と刻まれた優勝杯（アイゼンハワー・トロフィー）が贈られました。女子は64年に第1回大会が開催され、以来男女同時開催として、今日まで続けられています。（日本ゴルフ協会70年史より）

大会は2年ごとに行われ、日本開催は62年の第3回大会以来実に52年ぶりです。アマチュアでは世界最大の競技であり、タイガー・ウッズ、フィル・ミケルソン、女子ではヤニ・ツェン、ポーラ・クリーマーなどのトッププレーヤーも祖国の誇りと名誉をかけて参加しております。

男子チームのキャプテン堀田勝市氏（ナショナルチーム男子部会長）は、開催に際しての胸中を次のように語りました。

「この大会は、アマチュアゴルフの国別チーム対抗戦です。日本チームは、地元開催というアドバンテージがありますので選手はきっと良い結果を出してくれると期待しています。

私たちの役目は、恥ずかしい結果で終わらないよう、大会に備えて選手たちのコンディションをベストに整えて、試合にのぞませることです。

大会中は、軽井沢に約100人を超える世界のトップアマとその関係者が集結します。前大会では男子が72の国と地域、女子が53の国と地域が参加しました。皆さんもぜひ機会があれば応援に駆け付けてください」。

52年前の第3回世界アマチュアチーム選手権（会場・川奈）

世界アマチュアゴルフチーム選手権
【開催日】
女子 9月3日（水）～6日（土）
男子 10日（水）～13日（土）
【開催コース】
軽井沢72ゴルフ
東 入山コース／押立コース

お見事！16歳の橋本選手が出場権獲得

日本初「全米女子オープン最終予選」

今年度全米女子オープンゴルフ選手権（主催＝全米ゴルフ協会、6月19～22日）のセクショナルクオリファイング（最終予選）が、米国以外で初めて日本・英国・中国・韓国で開催となり、日本では、5月19日に愛知県の東名古屋CCで開催されました。アマチュアとして唯一人、地元の橋本千里選手（ルネサンス豊田高1年）が出場権獲得枠5人の中に入り、世界のメジャー大会出場を決めました。16歳のジュニア世代が日本の第一線で活躍するプロを相手に堂々たる戦いでの快挙です。

36ホール・ストロークプレーで競われた最終予選は、通算4アンダーで首位の成田美寿々プロがまず出場を確定、残り4人の出場権は2位Tの6人によるプレーオフに。この中に橋本選手と、野澤真央選手（クラーク記念国際高3年）の東海地方の高校生2人が入ったのです。橋本選手は第1ラウンドが2オーバーの25位Tでしたが、第2ラウンドを5アンダー67、この日のベストスコアで回る快進撃。プレーオフでは1ホール目をパーセーブし出場権を獲得しました。（出場権獲得者…成田美寿々プロ、渡邉彩香プロ、穴井詩プロ、城間絵梨プロ、橋本千里選手）

日本女子シニアで花井正子選手が3位Tと飛躍

第22回日本女子シニアゴルフ選手権は5月15、16日の両日、広島県・千代田OGMGCで開催され、花井正子選手（新南愛知CC美浜C）が3位Tと健闘しました。同選手権には3年連続3回目の出場でしたが、第20回が63位T、第21回12位と順位を上げ、今回は上位入賞を果たしました。

花井選手は第1日を1オーバーで回り、優勝した三木逸子選手（土佐CC）とともに首位に立ち、初優勝が期待されたのですが、第2日は10オーバーとスコアを崩し、結局通算11オーバーで3位T。三木選手は6度目の優勝と他選手を圧倒する強さをみせました。花井選手にとって、優勝にからみ今後の日本初タイトル奪取が楽しみな経験といえそうです。

キャディーは楽しい

●セルフプレーに慣れているお客さまは仕事が楽。距離もクラブ選択も自分でしてくれる。バンカーも直してくれる。

●バンカー直し。直しますよ！と言っているのに自分でする人。どうして「お願い」と言ってくれないの。嫌われているのかしら？と考えちゃう。

●「この風、アゲンスト？」と聞かれたら、分かりづらいときは、「基本（一般的）ここは上げてますが…」という言い方をする。風が巻いているホールは風の読みが一番難しい。特に台風、雨模様の日。

●同じクラブで別の人のものを間違えて渡した。「幼稚園からやり直してこい」と怒られた。以来、同じクラブの見分け方。①グリップの違いを見る②シャフトを調べる。それでも見分けがつかない場合は、許可を取ってシールを貼る。

●忘れられない出来事＝2013年東海クラシック。優勝したH・W・リュー（韓国）のキャディーをした。彼はプレーオフに持ち込む18番の勝負のパットラインを私に確認してきた。「スライス→フック→カップ1つ？」私はYesと返事。見事にカップイン。やったーぁと感動を分かち合った。

●仕事はつらいけどキャディーは楽しい。いろいろな人に会える。みんなおしゃべりが好き。ゴルフが好き。人間が好き。

★お話をしてくれたキャディー
所属／三好CC、20代独身女性。キャリア5年と6年。（高校出身・部活＝バレー部、カヌー部）

アスリートの体づくり

CGAジュニア育成委員会・発掘育成部会 平成26年度 第2回、第3回強化育成選手合宿

「中部から五輪を目指せるゴルファーを育成しよう」と、中部ゴルフ連盟ジュニア育成委員会・発掘育成部会は今年6回の合宿計画を立て、6月までに3回が終了しました。

この合宿は、（公財）日本ゴルフ協会のナショナルチーム入りに一番近いところにいるジュニアの英才教育。第2回は愛知県・栄徳高校、第3回は長良川スポーツ科学トレーニングセンターなどの施設を活用して行われました。指導にはナショナルチームを担当している長嶋淳治氏があたり、ナショナルチームと同じトレーニングメニューをこなすとあって選手たちも納得。長嶋氏は「このメニューを毎日の日課にしてほしい」と"激"を飛ばしていました。

参加した育成選手のうち次の選手が日本アマ、日本女子アマへの出場権を獲得しました。

【福井工大福井高】男子・横井優星（1年）女子・岩崎美波（2年）、松田鈴英（2年）【ルネサンス豊田高】橋本千里（1年）【岐阜聖徳学園高】吉音羽（1年）【クラーク記念国際高】鈴木里緒美（2年）の各選手。

第2回のトレーニング風景（第2回強化育成選手合宿）

岐阜県で日本学生選手権

8月、スプリングフィールドGCで

第68回日本学生ゴルフ選手権競技は8月26日（火）～29日（金）、第51回日本女子学生ゴルフ選手権競技は8月27日（水）～29日（金）、いずれも岐阜県多治見市のスプリングフィールドGCで開催されます。 全国各地の予選を勝ち抜いた大学生が日本一を目指し、熱い戦いを繰り広げます。会場コースは米ゴルフコース設計家のR・T・ジョーンズ・Jrが設計、「起伏や傾斜など自然を最大限に生かし、それらに息吹と活力を与えて、より戦略的に」というコンセプトを具現化、学生が挑むに相応しい舞台です。

昨年の中部地区代表として、男子は上位に食い込めなかったが、女子は松田唯里選手（福井工業大1年＝当時）が5位Tと健闘。今年は地元開催ということで中部勢の一層の飛躍が楽しみです。

日本プロスポーツ賞授賞

寺嶋誠志プロ

2013年12月27日、プロスポーツ界で顕著な活躍をした選手を表彰する「第46回内閣総理大臣杯日本プロスポーツ大賞」において、中部プロゴルフ会の寺嶋誠志会長が男子プロゴルフ部門の功労賞を授賞しました。